

江南市廃棄物減量等推進協議会 平成 26 年度第 2 回会議会議録(概要)

●日時 平成 26 年 10 月 2 日 (木) 午後 2 時～午後 4 時 10 分

●場所 江南市防災センター2 階 研修室 1

●出席委員(20 名)

会 長 岩 井 喜 美 子	副会長 前 田 幸 男
委 員 大 里 賢 史	委 員 添 田 祐 一
委 員 松 田 利 宣	委 員 岩 田 英 次
委 員 竹 島 允 子	委 員 三 輪 專 治
委 員 村 瀬 雅 己	委 員 春 日 井 久 敏
委 員 青 山 滿 宏	委 員 楓 健 年
委 員 古 田 一 弘	委 員 古 田 一 二 三
委 員 望 月 晴 夫	委 員 藤 田 泰 雄
委 員 堀 場 敏 之	

委 員 川 崎 晴 功 (代理人が出席)

委 員 松 井 淳 司 (代理人が出席)

委 員 荻 谷 有 朗 (代理人が出席)

●欠席委員(9 名)

委 員 尾 関 順 久	委 員 青 山 和 子
委 員 伊 神 鋭 康	委 員 水 野 祐 助
委 員 寺 澤 佳 訓	委 員 柳 田 恭 彦
委 員 尾 関 安 巳	委 員 長 岡 吉 男
委 員 阿 部 真 弓	

●事務局

環 境 課 長 石 川 晶 崇

環 境 課 主 幹 梅 本 孝 哉

環境課副主幹 相 京 政 樹
環境課主任 長 崎 紘 樹
環境課書記 堀 場 大 貴

●会議経過

■議題①市制 60 周年記念環境フェスタ江南 2014 について

○会長

お忙しいところ会議にお集まりいただき、ありがとうございます。

環境フェスタの実施日も迫ってまいりました。また、ごみ減量を進めていくための会議の場であります。いろいろとご議論いただいた上で、環境フェスタ等で発表していくこととなります。

今年の環境フェスタでは、廃棄物減量等推進協議会のブースについては、堀場委員がリーダーとして担当していただくということです。また、環境フェスタ江南実行委員会の会長は前田委員が務めていらっしゃいます。

レジメに沿って進めていきますが、いろいろとご意見を承りたいと思います。

議題①の市制 60 周年記念環境フェスタ江南 2014 について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

市制 60 周年記念環境フェスタ江南 2014 について、説明させていただきます。「市制 60 周年記念環境フェスタ江南 2014 概要」と記載された別冊の資料をご覧くださいと思います。

第 1 回の協議会で申しあげましたが、廃棄物減量等推進協議会委員の皆様には環境フェスタ江南の実行委員会委員を兼任いただいております。毎年、環境フェスタ江南の準備や当日の運営についてご協力をいただいております。委員の皆様には今年度もご協力いただくようお願いしたいと思います。

委員の皆様のご役割については、例年と同様に事務局で設定させていただきましたのでご了承いただきたいと思います。

10 月 25 日と 26 日の環境フェスタ当日、事情があって参加できない委員の方もいらっしゃると思いますが、参加人数を把握する必要がありますので、参加できない委

員の方は、本日の会議終了後に事務局に連絡いただきますようお願いいたします。

それでは、1 ページから説明させていただきます。

まず、環境フェスタ江南 2014 の目的ですが、記載のとおり、「環境問題に対する全市的な取組みを推進し、市民一人ひとりに環境問題についての理解を深めてもらうことを目的とする。」ということです。「地球にやさしい環境づくりの推進」、「ごみの減量化と再資源化の促進」、「省エネ・省資源の推進」といったテーマも掲げています。

次に、主催及び後援、並びに協賛ですが、主催は江南市、環境フェスタ江南実行委員会です。

後援は、江南市廃棄物減量等推進協議会、愛知県、ごみゼロ社会推進あいち県民会議です。

協賛は、株式会社愛北リサイクルを始めとする 36 団体です。

ステージ出演は、聖英学園江南第二幼稚園、修文大学附属藤ヶ丘幼稚園、江南市立宮田中学校の 3 団体です。

次に、実施月日ですが、平成 26 年 10 月 25 日と 10 月 26 日の 2 日間です。

時間は、25 日が午前 10 時から午後 4 時まで、26 日が午前 10 時から午後 3 時 30 分までです。

開催場所は、すいとぴあ江南です。

次に、2 ページをご覧ください。

2 ページと 3 ページは、催事案内を掲載しております。こちらは 10 月号の広報配布時に区、町内会で回覧していただいております。25 日に野外ステージで開催式、表彰式、演奏等が行われ、その他、企業団体等の展示やカレーうどんの無料提供等が実施されます。催事案内の内容の詳細は後ほど各自でご確認いただきたいと思います。

次に 4 ページをご覧ください。4 ページから 10 ページにかけては各エリアの配置図を掲載しております。スタンプラリーの位置や出展配置について当日までにご確認いただきたいと思います。

廃棄物減量等推進協議会の展示については、昨年度と同様に、今年度も多目的ホールで実施いたします。

続きまして 11 ページをご覧ください。催事スケジュールについて説明させていただきます。まず、10 月 25 日土曜日ですが、9 時 25 分に会場入り口でテープカットを行います。その後、9 時 35 分から野外ステージで開催式が行われ、10 時から各イ

イベントを開始します。カレーうどんの無料提供は 12 時から 14 時までとなっております。

次に、10 月 26 日日曜日の催事スケジュールですが、各イベントが 10 時開始でカレーうどん無料提供は 25 日と同じで 12 時から 14 時までとなっております。また、日曜日のイベント終了時間は 15 時 30 分ですので、その後速やかに片付け作業を行っていただきたいと思います。

次に、市制 60 周年記念環境フェスタ江南 2014 担当一覧ですが、事務局で例年のように担当の割り振りを決めさせていただきました。委員の皆様の役割分担の詳細は 12 ページと 13 ページに記載があります。各自でご覧いただきたいと思います。次に、14 ページをご覧いただきたいと思います。

14 ページには環境フェスタ江南の実行委員会の皆様が担当していただく作業の内容について、記載されています。

フェスタの前日と前々日にもご協力いただきたいと思います。準備ということで、23 日は午前 9 時 30 分から午後 2 時頃まで、24 日は午前 9 時から正午ごろまでの時間に準備作業を行う予定です。

次に、開催の当日ですが、まず、本部に集合していただきますが、集合時間は、25 日は午前 8 時 30 分、26 日は午前 9 時です。解散につきましても本部に集合していただきますが、解散の時間は、26 日が午後 4 時 15 分頃、27 日は、午後 4 時 30 分頃を予定しております。集合の際にスタッフベストと名札をお渡ししますので、着用をお願いします。

以上で、市制 60 周年記念環境フェスタ江南 2014 の説明を終わらせていただきます。

○副会長

ただ今、事務局から環境フェスタの内容について説明がありました。内容について大体のことはご存知のことと思いますが、実行委員会の役員だけではなく、実行委員会の役員でない協議会委員の皆様も一丸となって取り組んでいただかないと環境フェスタを実施できませんので、その点についてご理解いただき、決められた仕事に取り組んでいただきますようこの場をお借りしましてお願いいたします。

今年度も廃棄物減量等推進協議会のブースを出展します。今回は、可燃ごみの仕

分け方の説明を中心に行いたいと思います。

○委員

昨年度、多目的ホールで廃棄物減量等推進協議会のブースを出展しましたが、2日間で述べ1,059名の方にアンケートの記入をいただくことができました。昨年度の実施内容は、ごみ減量57運動で目標とされている57グラムの減量について、大体どのくらいの重さなのか、量としてはどの程度なのか、実際に野菜等を展示して分かりやすく示しました。その際に、展示された物は可燃ごみで処理されるものでしたので、今年度は主に可燃ごみを減らすことに重点を置き、家庭から出る可燃ごみの中で、資源ごみとして出すべき物が含まれているという問題の改善を図る取り組みを行いたいと思います。

協議会のブースで使用するサンプルを持ってまいりましたので、説明をさせていただきたいと思います。

まず、ビニールひもですが、これが可燃ごみとして出されることが多いという現状があります。荷物を縛るビニール紐は資源ごみとして出すべき物です。

次に、花火ですが、これが資源ごみに出されることがあります。可燃ごみとして出すべき物ですが、このまま出すと危険なので、水で湿らせて出す必要があります。

次に、菓子袋です。これは資源ごみですが、可燃ごみで出されることも多くなっています。

このほか、トイレットペーパーの芯ですが、これは雑がみに出すべき物ですが、間違っって可燃ごみで出されることが多くなっています。

今回の環境フェスタにお越しいただいた市民の皆様にもう一度正しい分別方法について再認識していただきたいと考えています。

ブースでアンケートをお渡しして、答えていただいた方にボックスティッシュを配布します。ボックスティッシュに可燃ごみ分別の説明を記載した紙を添付して、可燃ごみの出し方について伝えたいと思います。

ブースの位置は多目的ホールで、机4個分となっております。

昨年度使った掲示板を今年度も活用しますが、新たに掲示板を追加する予定です。分別方法を分かりやすく示すため、物を吊り下げるスライド式の掲示板を新たに使用します。

昨年度は1,059名の参加がありましたが、今年度は1,500名の参加を目標にして、

ごみ減量を訴えていきたいと思っておりますのでご協力いただきますようお願いいたします。

○委員

10センチ以上の大きさの紙は資源ごみといった基準があると分かりやすいと思います。

○会長

名刺の大きさの紙より大きい場合は、雑がみに出すことができます。雑がみは紙袋に入れて出すということです。

■議題②江南市ごみ処理基本計画について

○事務局

議題②の江南市ごみ処理基本計画について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

それでは、ごみ処理基本計画の改訂について説明させていただきます。事前に皆様のご自宅に郵送をさせていただきました「環境情報」と「改訂計画案」を資料として付けさせていただきます。

現在、市では、様々な施策によりまして廃棄物の減量を推進していますが、平成20年度に改訂されたごみ処理基本計画をよりどころとして各種施策を進めております。それで、この計画自体は、10年間の長期計画となっております。廃棄物処理法という法律で概ね5年ごとに内容を見直していくということが定められております。今年度は、前回の改訂から6年目にあたります。数値等の見直しの必要が出てきていることもありまして、この計画の改訂作業を進めているところでございます。

始めに、資料1ページの「環境情報」をご参照いただけますでしょうか。見出しは、ごみ減量目標値等の見直し作業を進めています、ということで、本文の方をちょっと読み上げさせていただきます。「市では、現在、ごみ処理基本計画の改訂作業を進め、将来に向けてのごみ減量の目標数値等の見直しを行っています。計画の改訂に当たっては、市民の皆さん、事業者の声を反映させることで、多様な視点からごみ減量の方策を計画に盛り込み、一人ひとりのごみ減量への意識を高めることを目指しています。」その後、カッコ書きで、平成26年12月頃に計画の素案を示し、皆さんからの意見を募集する予定です。」としております。カッコ書きの部分は、パブリックコメントのことですけれども、12月頃に予定をしておりますので、この点は、皆様に

もご承知置きをいただきたいと思います。

この「環境情報」については、定期的に地区回覧をお願いしている形のものですが、今回の「環境情報」に関しましては、ホームページへの掲載のみとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、まず、現行計画の中身を簡単に紹介させていただきたいと思います。ごみ処理基本計画は、大雑把に申し上げますと、3つの内容に分けることができます。それが、この「環境情報」の中段に記載をしております「計画の方針」、「減量の目標」、それから裏面の「減量化・資源化計画」になります。

「計画の方針」は、「基本理念」と「基本方針」で構成をしております。現行計画の基本理念は、「環境と調和した豊かな生活の場があるまち」です。「基本方針」は、「循環型社会に向けた意識改革」、「4R（発生抑制・排出抑制・再使用・再生利用）の推進」、「ごみの適正処理体制の確保」の3点です。

「減量の目標」では、資源ごみを除いた家庭系ごみの平成29年度目標値は1人1日当たりの排出量463グラムと記載されています。平成25年度実績値は1人1日当たりの排出量が433グラムです。事業系ごみの平成29年度目標値は1人1日当たりの排出量が154グラムです。平成25年度実績値は1人1日当たりの排出量が138グラムです。

実績値は、目標値を大きくクリアしております。

続きまして、2ページをお願いします。

減量化・資源化計画は、先ほど読み上げました計画の方針に沿った減量化、資源化計画、いわゆる施策が記載されております。

この中で、実施が不十分だった内容について申し上げます。

「(1) 循環型社会に向けた意識改革」の「(カ) 小学生向け環境学習資料の活用」は、ここ数年実施できなかった内容です。今後、環境アドバイザー制度の活用によって、小学生向けの環境学習の充実を図っていくことが考えられます。

「(2) 4R（発生抑制・排出抑制・再使用・再生利用）の推進」の中では、「(イ) ごみ減量推進協力店制度の加盟店拡大」、「(エ) エコクッキングの推進」、「(ケ) 使い捨て商品、容器削減に向けた国、業界への働きかけ」が不十分だった内容です。エコクッキングについては、具体的な推進策は実施していません。また、使い捨て商品、容器削減に向けた国や業界への働きかけも江南市独自で表立って実施していません。

「(3)ごみの適正処理体制の確保」では、「(オ)不法投棄撲滅キャンペーン」が実施できていません。

2 ページの後段には参考データを掲載しております。今回の計画の改訂に当たっては、江南丹羽環境管理組合を構成する 1 市 2 町が協働で改訂作業を進めております。すでに、1 市 2 町管内の無作為に抽出した 5,000 名の方に家庭系ごみに関するアンケート調査を実施しております。そのアンケートの一部を抜粋しまして、先日実施したボランティア分別指導員の交流会においてアンケートをとらせていただきました。100 名の参加者のうち、90 名の方から回答がありました。

問の内容は、「本市のごみ行政は優先的にどのようなことをすべきか。」です。その結果、上位となった 3 つをご紹介しますと、「①児童等に対するごみの環境教育に力を入れる」、「⑧生ごみの堆肥化の普及やその堆肥の利用を進める」、「⑩地域と問題意識を共有しながら、ごみ減量に取り組む」でした。

「①児童等に対するごみの環境教育に力を入れる」は、施設見学を中心に啓発を行っています。「⑩地域と問題意識を共有しながら、ごみ減量に取り組む」は、分別指導員の養成や地区懇談会の開催を行っています。「⑧生ごみの堆肥化の普及やその堆肥の利用を進める」は、生ごみの分別が必要になりますので、現在は未着手となっておりますが、特に生ごみの堆肥化につきましては、全市的に取り組んでいくことは難しいと考えておまして、今のところ、市としては、地域単位で取り組む環境が整うようであれば、積極的に推進していきたいと考えています。このことについて、ご意見等がございましたら、後ほどお伺いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それから、1 ページの方に戻っていただきまして、ごみ袋の絵の中に円グラフがありますけども、こちらは 25 年度の可燃ごみの内訳の分析結果です。

以上が、現行の江南市ごみ処理基本計画の説明になります。ここまでのところで、ご意見、ご質問等がありましたら、お願いしたいと思います。

○委員

住民が、収集日以外に資源ごみを出すことができるリサイクルセンターを早い時期に設置することを希望します。リサイクルセンターの設置によって、資源ごみの回収量が減って、運搬費も削減できると考えられます。紙ごみが可燃ごみの中に 44.2% も含まれているということですが、そうしたごみをどのように減らすか真剣に考える必要があります。混入する資源ごみが減れば、新設する焼却炉の規模も小さくて済む

ことになると思います。

○委員

児童対象の環境学習ということですが、児童にとっては、市全体で1人当たりのごみの量を提示しても、理解しにくいと思います。市内の各地区単位のことある程度、理解できると思いますが、市全体では大きくて理解しにくいと思います。小学校区単位で1人当たりのごみの量を示すことはできないでしょうか。それが無理であれば、中学校区単位で示すことができないでしょうか。子どもたちにとって、ごみ問題が身近なものに感じられるようになるのではないかと思います。

○委員

先程、小学生向けの環境学習資料の活用が十分にできなかったという説明がありましたが、どのような資料をどのような形で活用していこうとお考えなのか教えてください。

○事務局

平成19年に小学4年生向けの副読本を配布しましたが、その後改訂ができていない状況です。

○委員

副読本をいただいただけでは、活用していくことが難しいと思います。年月が経つと、副読本は活用されなくなってしまいます。小学4年生でごみ学習がありますので、その授業の際に、市の職員にお越しただいて、講師として解説していただくことができないでしょうか。

○事務局

先ほど少し申し上げましたが、昨年度から環境学習アドバイザーという一般の方が講師となって、環境学習の場に出向くという制度を立ち上げております。市職員では人数が限られていますので、対応が少し難しいと思います。

○会長

環境学習アドバイザー制度が発足しましたが、アドバイザーの自己満足で内容が不十分なことも多いと思います。学校の求める学習内容・水準を把握して、それに対応できる内容にする必要があると思います。

市も副読本を配るだけでなく、可能な限り、職員を環境学習の場に派遣することを検討してもよいと思います。

○事務局

小学校のごみ処理施設見学の際に、市職員が同行して、ごみ行政について説明をしておりますが、その内容を充実させていくことも考えております。

○委員

体育館で4年生の児童を集めて、市職員が説明するような取り組みを市内の小学校10校で行うことができれば、効率的に実施できると思います。

○委員

市職員が出向いて、説明するのは人数も少ない上に日常業務が忙しいため、無理があると思います。学校から要請があった場合に、ボランティア分別指導員が出向いて授業を行うのが適切だと思います。現在でもボランティア分別指導員が学校でごみ分別の授業を行っている事例があります。

○会長

市職員が忙しいのは理解できますが、その中で何ができるか考えなければならないと思います。

○委員

5ページの1人1日あたりのごみ排出量がこれまで廃棄物減量等推進協議会の会議で出された数字と異なるのはどういうことなのか説明していただきたい。

○事務局

後程説明させていただこうと思っていたところなのですが、これから説明させていただいたほうがよろしいでしょうか。

○会長

後程説明いただければよろしいです。

○委員

提案があります。ごみ処理経費について一人当たりどのくらいかかっているのか金額で表示すると非常に分かりやすいと思います。副読本には確か記載されていたと思います。金額を出すことはできませんか。

○事務局

出すことはできますが、実際に出してみると、安く感じられてしまうという問題があります。1人年間5,000円代で収まってしまいます。家族4人、1世帯で2万円と行った数字になります。施設整備費を入れるともっと高くなりますが、1人年間の経

費を出しても、住民への啓発にはあまり効果がないと思います。

○会長

ごみ減量を進めた結果、処理費が安くなっているのだと思います。

○環境課長

処理費を算定する際に、どの費用を元に考えるかという課題がありますが、削減目標を立てる場合を考えて、適切な数字にする必要があると思います。処理経費の表示の仕方については検討していきたいと思います。

○委員

副読本は、定期的に作り変えなければならないと思います。

○会長

冒頭でも申し上げましたが、この会議はごみ減量の方策について検討する場であり、ます。平成 21 年 3 月 5 日の会議の際に、廃棄物減量等推進協議会でまとめた可燃ごみの減量対策の提案を提出しております。平成 19 年 8 月にも可燃ごみ減量について討議しています。

その後、廃棄物減量等推進協議会は、年間の会議回数が年 3 回に減ってしまいました。そうした状況では、1 回目に役員を決めた後、2 回目は環境フェスタの内容で終わってしまい、3 回目は環境フェスタの報告で終わってしまっています。

前向きに取り組んでいかないと何も進んでいかないとします。

先程、議論があった市職員が学校でごみ減量の講義を行う取り組みも前向きに検討していただきたいと思います。

○事務局

小学 4 年生に対して、学校の先生の代わりに授業を行うのは難しいところがあります。経験が必要になると感じます。

○会長

施設見学の際に小学生に説明している内容に補足を加えて説明すればよいと思います。

○委員

今の子どもたちは、インターネットを使用するなどして環境問題について学習しています。古い考えで対応していくのはよくないと思います。環境アドバイザー制度についても子どもたちの目線に立って取り組む必要があります。環境アドバイザー制度

をもっと活用していくべきだと思います。

○環境課長

貴重なご意見をいただきありがとうございます。先程事務局より、説明のあったアンケートの結果でも、「児童等に対するごみの環境教育に力を入れる」という取り組みが必要だという意見が多くございました。環境学習の充実についてどのように取り組んでいくか、現在のところは環境学習アドバイザー制度に基づく活動の推進に取り組んでおりますが、先程提案があった環境課職員が対応できるか、また、アドバイザー制度の更なる活用を図るか、そういった課題について検討して、できる限り小中学生向けの環境学習の機会を増やしていく必要があると思います。ごみ処理基本計画策定に際してご意見をいただき、できる限り反映させていきたいと考えております。

○会長

江南市ごみ処理基本計画について、後半の説明をお願いします。

○事務局

続きまして、3ページをお願いいたします。現在、改訂作業を進めつつある江南市ごみ処理基本計画の案について、説明をさせていただきます。まず、現行の計画との違いを中心に説明を進めたいと思います。それで、一通り説明が終わったところで、委員の皆様のご意見等を伺いたいと考えております。

3ページの最初に太字で記載をしておりますが、国が昨年5月に作成をした「資源循環型社会形成推進基本計画」によりますと、ごみの処理に関しては、循環を量の面から捉えて減量化に重きをおいて推進していくというステージから、循環を質の面からも捉え、有用金属の資源確保であったり、安全・安心の確保などといった循環の質にも着目した取り組みを進めるべき段階に入ってきている、と謳われております。今回は、これを1つのよりどころとしまして、改訂案は、「資源の循環」をキーワードとして、作成をしております。

「基本理念」として、今のところ3つの案を準備しております。「環境負荷を最小限に抑え資源を有効活用する循環型のまち」、「資源を有効利用する環境に優しい循環型のまち」、「みんなで築く循環型のまち(こうなんプラン)」です。

「基本方針」は、「①地域団体との協働によるごみの減量化に関する意識の高揚と行動の促進」、「②ごみの発生(排出)抑制と再使用の取組推進」、「③循環資源の高度利用」、「④安心・安全なごみの適正処理体制の確保」の4つを考えています。

①協働、②(排出)抑制と再使用、③資源の高度利用、④安心・安全として構成をしたものでございます。

続きまして、目標ですが、減量目標値につきましては、家庭系ごみと事業系ごみに分けて、それぞれ設定をしております。まず、家庭系ごみの方から説明をさせていただきます。

家庭系ごみは、可燃ごみ、埋立ごみ、粗大ごみの数値を表しておりますけども、平成 19 年度の 1 人 1 日当たりの実績は、可燃ごみが 416 グラム、埋立ごみが 21 グラム、粗大ごみが 26 グラムで合計が 463 グラムとなっております。それで、現行計画におきましては、この時の 463 グラムを 10 年先の平成 29 年まで維持するという目標を設定しています。ところが、表の真ん中の平成 25 年度の実績を見ていただきますと、合計で 433 グラムとなっております。25 年度の時点で実績値が目標値を大きくクリアして、30 グラムも違ってきていますので、この状況を考慮しながら、新たな目標値を設定しようと考えているものでございます。今回は最終目標年度を平成 36 年度に設定することになりますが、中間目標年度が平成 31 年度になりますので、表には、平成 31 年度を掲げさせていただいております。目標数値を設定するにあたっては、いろいろと考え方はあるのですが、何か江南市らしさを出せないかと思ひまして、案としては、57 運動の 5 と 7 の数字を使って設定をいたしました。新たな目標については、平成 19 年度の実績を基に、可燃ごみの平成 31 年度目標数値が、平成 19 年度比 5.7%減の 392 グラム、埋立ごみの平成 31 年度目標数値は、平成 19 年度比 57%減の 9 グラム、粗大ごみについては、平成 19 年度の実績維持で 26 グラム、合計で 427 グラムということで、数値を設定しております。減量目標に関しましては、江南市議会からは意欲的な減量目標を立ててほしいというようなお話もいただいております。この期待にも添いながら、コンサルタントによる分析等も頼りにして実現の可能性を探っていきますと、この数値は、まずまず妥当な数字ではないかと考えているところでございます。

次に、事業系ごみの減量目標値ですが、現行計画における 10 年後の目標数値は、19 年度の実績維持で設定をしております。ところが、平成 25 年度の実績は、138 グラムとなっております。こちらも大きくクリアしていますので、新たな目標数値としては、平成 19 年度比で、5.7%の 2 倍強にあたる 12%の減ということで、平成 31 年度の目標数値を 136 グラムとする案を掲げさせていただきました。

目標に関する説明は以上になります。

続きまして、資料の4ページをお願いします。こちらは、基本方針に沿って、減量目標を達成するために進めていく施策の案になります。こちらについては、現行の計画では記載されていないくて、新たに追加をさせていただいたものについて、説明をさせていただきます。

①の「地域団体との協働によるごみの減量化に関する意識の高揚と行動の促進」では、「(エ) ボランティア分別指導員の養成・活動推進」と「(キ) 多量のごみ排出事業者に対する減量化啓発指導の徹底」を追加しました。

②の「ごみの発生(排出)抑制と再使用の取組推進」では、「(イ) 食品ロス削減に向けた取組の推進」、「(キ) フードバンク活動の普及」を新たに記載しました。

③の「循環資源の高度利用」では、「(ア) 小型家電リサイクルの推進」、「(エ) 食品関連事業者の食品廃棄物リサイクルの促進」を追加しました。

④の「安心・安全なごみの適正処理体制の確保」では、「(オ) 不法投棄、資源ごみ持ち去り防止パトロールの強化」、「(カ) 不用品回収業者に対する指導強化」、「(キ) 災害時・荒天時の収集体制の確立」、「(ク) ごみ排出困難者に対する支援」を追加しました。

最後になりますが、5ページをお願いいたします。

こちらの資料は、愛知県のホームページから抜粋した表を参考資料として付けさせていただきます。この表の数字は、平成24年度の実績を示しております。

上段の表が、愛知県の人口10万人以上の自治体の実績になりまして、一番左にある指標の1人1日当たりの資源ごみを含むごみの排出量は、江南市が782グラムで一番少ないという結果になっております。この結果から見ましても、江南市は、かなり高い水準でごみの排出抑制とごみ減量が実現できておりますので、他市町に比べると、さらに高い減量目標は立てにくい状況といえます。しかしながら、江南市としましては、この状況に甘えることなく、さらなるごみ減量を推進していきたいと思っておりますので、皆様のご協力もよろしく申し上げます。

説明の冒頭でも申し上げましたけれども、市民、事業者の皆さんの多様な視点からごみ減量等の方策を計画に盛り込んでいきたいと考えております。この場ですべてを決めるわけではありませんので、それぞれの立場で感じていること、ごみ減量につながる施策についてご意見等が伺えれば幸いと考えております。

限られた時間の中での協議になりますけども、どうぞ、よろしく願いいたします。
事務局からの説明は、以上でございます。

○委員

1人1日当たりのごみ排出量の表が3ページの江南市ごみ処理基本計画案と5ページの愛知県のホームページ抜粋で異なっています。どういう根拠でこのようになるのか理解できません。5ページの表については県の担当者にどのように算出したか聞いていただきたいと思います。

○事務局

根拠は事務局としては把握しております。5ページの表は資源ごみと集団回収量を加えたものです。

○委員

集合住宅等では可燃ごみに紙が混ざって出されることが多いのですが、ポストイングが非常に多いのが原因です。

ごみの問題について、「可燃」、「不燃」という言葉の使用については検討いただきたいと思います。鉄でも何でも高温であれば燃えるため、「可燃」ということができます。「燃やしていいごみ」、「燃やしてはいけないごみ」とするのが適切だと思えます。表現を変えていく必要があると思います。

○委員

「資源化できるごみ」と「資源化できないごみ」という名称がよいと思います。

3ページの基本理念の中で、3つの案が示されていて、その中から一つ選ぶということですが、それ以外に「地産地消4Rを推進するまち」という案を提案したいと思えます。

○委員

資料1ページの「可燃ごみ袋に出された中身の内訳」についてはどのように調査しているのでしょうか。

○事務局

江南丹羽環境管理組合で年6回抽出して調査を行っています。紙類が44.2%となっていますが、資源化できる紙と資源化できない紙を合わせた数値となっています。資源化できる紙と資源化できない紙を分けて、分析していない点が不十分なところだと思えます。

○会長

意見も出尽くしたようですので、これで、議題②の議論について終了します。

■議題③その他

○会長

議題③のその他について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

その他については、会議録のホームページ掲載について説明いたします。前回の会議で会議録のホームページ掲載について了承をしていただきましたので、掲載をさせていただきたいと思います。会議録については、今回の会議の開催通知に同封しまして、前回出席した委員の方に会議録案を送付させていただきまして、9月26日までに修正がございましたら、連絡いただきますようお願いしておりましたが、特に修正の連絡はございませんでした。

次に審議会等の概要のホームページ掲載について、説明させていただきます。前回の会議で「審議会等の概要」として、会の名称や委員の氏名のホームページ掲載について了承していただきましたが、実際に掲載する原稿を作成しましたので、確認をお願いしたいと思います。資料6ページと7ページに掲載がございます。

会議録と協議会概要のホームページ掲載について、ご意見がございましたら、伺いたしたいと思います。

○会長

これで会議を終了しますが、環境フェスタ江南では皆様のご協力をいただきますようお願いいたします。